

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2019年 8月 26日作成 第 1 版

研究課題名	当院における嵌頓子宮症例の後方視的検討
研究の対象	当院で2000年1月1日～2019年7月31日の間に分娩し、妊娠中に嵌頓子宮と診断された方
研究目的 ・方法	嵌頓子宮は非常にまれな疾患です。子宮破裂の原因になることがあり、嵌頓子宮のままでの経膈分娩は非常に危険であることから、帝王切開術が望ましいとされています。 自然に治ることもありますが、実際にはどれくらいの割合で治るのか、またどのくらいの週数で治るのかなど、知られていないことがたくさんあります。そのため、当院で嵌頓子宮と診断された方の情報を用いて嵌頓子宮の詳細を調査していきます。
研究期間	西暦 2020年 4月 3日 ～ 西暦 2021年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	当院に保存されているカルテより、母体の年齢、身長、体重、妊娠分娩歴、嗜好歴、既往歴、妊娠方法、胎児数、妊婦健診の所見、超音波検査の所見、MRI検査の情報、嵌頓子宮に関する情報、母体の周産期の合併症、分娩方法、手術所見、新生児の所見（分娩週数、NICUへの入室の有無、児の体重、合併症など）などの情報を用いて検討します。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター（研究責任者）小畑 聡一郎 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5784	